



瀬戸内・海的路ネットワーク推進協議会(通称:海ネット)

「令和元年度総会」、「第13回瀬戸内海首長サミット」及び「瀬戸内海クルーズ推進会議 合同会議」の開催

- 令和元年5月31日(金)、山口県宇部市において「瀬戸内・海的路ネットワーク推進協議会 令和元年度総会」、「第13回瀬戸内海首長サミット」及び「瀬戸内海クルーズ推進会議 合同会議」を開催しました。
- 第1部の総会では、「令和元年度事業計画・予算」などを提案・決議し、次期会長は、大分県佐伯市の田中利明市長、次期開催地も佐伯市に決定しました。
- 第2部の「瀬戸内海首長サミット」では、「瀬戸内・海的路の災害時相互応援の連携強化について」をテーマに参加首長による議論が行われ、「平成30年7月豪雨災害では、海上ルートの有効性を非常に強く感じた。」、「災害の備えとして、日頃からの“顔の見える連携”が必要である。」などのご意見を頂戴しました。
- 「瀬戸内海クルーズ推進会議合同会議」では、荻田知英代表(中国経済連合会 会長)より挨拶の後、「瀬戸内海クルーズ推進アクションプランの基本方針(案)」を事務局から提案し、議論が行われました。今後、各港の目標を設定した後、誘致チームを結成し、船社へ誘致活動を進めていきます。

開催概要

- 【開催日】 令和元年5月31日(金)
- 【場 所】 ANAクラウンプラザホテル宇部(山口県宇部市)
- 【主催者】 瀬戸内・海的路ネットワーク推進協議会事務局(近畿・中国・四国・九州地方整備局)
- 【参加人数】 54会員160名
- 【次 第】 (1)第1部 令和元年度事業計画・予算
(2)第2部 第13回瀬戸内海首長サミット
(3)第3部 瀬戸内海クルーズ推進会議合同会議

参加首長(19名)

(敬称略)			
大阪府	高石市	阪口 伸六	守本 憲弘
兵庫県	南あわじ市	畑中 雅央	黒田 晋
和歌山県	由良町	新原 芳明	天満 祥典
岡山県	玉野市	入山 欣郎	吉田 隆行
広島県	呉市	前田 晋太郎	久保田 后子
	三原市	池田 豊	市川 熙
	大竹市	藤井 律子	椎木 巧
	坂町	吉田 直人	綾 宏
山口県	下関市	岡原 文彰	田中 利明
	宇部市	川野 幸男	
	防府市		
	光市		
	周南市		
	周防大島町		
徳島県	松茂町		
香川県	坂出市		
	宇和島市		
大分県	佐伯市		
	津久見市		



令和元年度総会の様子



市川 副会長(光市長)
(開会挨拶)



森若 山口県
土木建築部長(来賓挨拶)



海谷 国土交通省
大臣官房審議官(来賓挨拶)



久保田 宇部市長
(歓迎挨拶)



田中 佐伯市長
(次期会長及び開催地挨拶)



瀬戸内海クルーズ推進会議
荻田代表(中国経済連合会会長)挨拶



(参考)瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会(通称:海ネット)

海ネットとは

「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」(通称:海ネット)は平成3年5月に設立され、瀬戸内海沿岸市町村相互の連携により、**瀬戸内海の多様な資源を活かした人の流れを創り出し、防災ネットワーク機能の強化を視野に入れた瀬戸内・海の路の利用振興を図りつつアメニティー豊かな地域として沿岸地域全体の発展に資することを目的**としている。

海ネットの活動指針

- 高速海上交通時代に対応した今日的意義のある「**海の路の構築**」、並びに地震津波に対応した**防災ネットワークの整備**
- 瀬戸内海の景観、歴史、文化、食、街並み等インバウンド観光時代における**瀬戸内の魅力発信**
- 失われた干潟、藻場の再生や災害、荒廃によるはげ山の修復等の**瀬戸内海の環境創造**

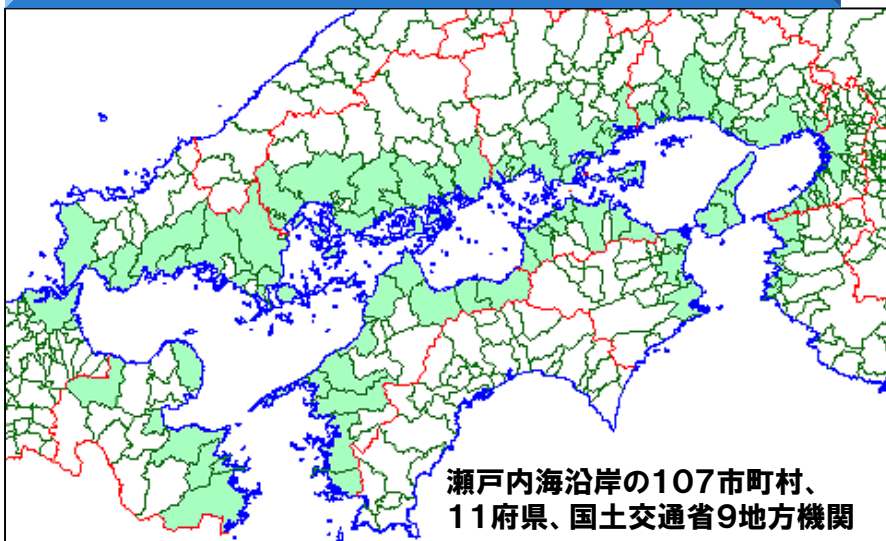
歴代会長

平成 3年～ 6年	姫路市長	(戸谷 松司)
平成 7年～ 10年	坂出市長	(松浦 稔明)
平成 11年～ 14年	小松島市長	(西川 政善)
平成 15年～ 18年	玉野市長	(山根 敬則→黒田 晋)
平成 19年～ 20年	下関市長	(江島 潔→中尾 友昭)
平成 21年～ 26年	大竹市長	(入山 欣郎)
平成 27年～ 30年	和歌山市長	(尾花 正啓)
令和 元年～	佐伯市長	(田中 利明) ※敬称略



海ネットのシンボルマーク

海ネット会員(127会員:令和元年5月31日現在)



瀬戸内海沿岸の107市町村、11府県、国土交通省9地方機関

協議会の実施機関となる「実行委員会」

環境事業委員会

「受け継ごう きれいで豊かな瀬戸の海」を合い言葉とした「リフレッシュ瀬戸内」や、ゴミの組成調査「海の健康診断」等を実施し、環境美化活動へ活用するため、関連する調査結果を内外へアピールする。

魅力検討委員会

「瀬戸内・海の路利用振興事業」、「海ネットサポーター提案事業」により会員支援を実施。また、「瀬戸内」をキーワードとした取り組みについて積極的に連携等を図り、瀬戸内の魅力を発信する。

情報発信委員会

海ネット活動の成果などの情報発信を行うとともに、他の実行委員会と連携することで、より多くの人々に瀬戸内の魅力を認識していただき、興味をもってもらえるような情報を発信していく。

防災委員会

「瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定」における締結拡大を図るとともに、協定運営協議会との情報交換等により、本協定の実効性の確保に向けた検討を行っていく。



(参考)「瀬戸内海クルーズ推進会議」の設置

設立の目的（「瀬戸内海クルーズ推進会議」規約第2条）

○我が国におけるクルーズが進展しつつある中、瀬戸内海や瀬戸内海を囲む諸港、諸地域において、瀬戸内海独自の魅力、特色を活かした独自のクルーズ振興を図り、瀬戸内海が世界的に知名度の高い「エーゲ海」や「カリブ海」等に並ぶブランド力の高いクルーズの海^(※)となることを目指し、また、その取組みを通じて当該海域・地域の振興を図るとともに世界に誇れる主要な観光圏としての地位向上を目的に設立。

※「明日の日本を支える観光ビジョンー世界が訪れたい日本へー（平成28年3月20日）」での施策集において“日本の各地をカジュアルからラグジュアリーまで幅広く対応したクルーズディスティネーションに～瀬戸内と南西諸島を日本のエーゲ海・カリブ海に～”との言及もあり。

推進会議の体制（「瀬戸内海クルーズ推進会議」規約第11条、第12条、第13条）

○瀬戸内海クルーズ推進会議は、重要港湾以上の港湾管理者を兼ねる地方自治体、民間団体、国の機関から構成される『全体会議』及び近畿・中国・四国・九州の各エリアに係る構成員から構成される『エリア会議』から構成。

瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会

瀬戸内海クルーズ推進会議 代表：苅田中国経済連合会会長（中国電力会長）、副代表：千葉四国経済連合会会長（四国電力会長）

全体会議

総括事務局：中国地方整備局（港湾空港部）
事務局：近畿地方整備局、四国地方整備局、九州地方整備局（各港湾空港部）

【メンバー】

- ・重要港湾以上の港湾管理者をかねる地方自治体
- ・広域的活動する民間団体等
- ・国の機関（各地方整備局・運輸局）

【役割・取組内容】

- ・瀬戸内海の全体の課題整理
- ・瀬戸内海全体におけるクルーズ振興方策の検討
- ・クルーズ振興に関する取組みの実行及び全体の取組の進捗管理

開催日

- 第1回（平成30年12月13日）
- 第2回（令和元年 5月23日）

情報共有



提案・報告

エリア会議

【メンバー】

- ・各エリアの重要港湾以上の港湾管理者をかねる地方自治体
- ・各エリアの民間団体等
- ・各エリアの地方自治体
- ・各エリアの国の機関（各地方整備局・運輸局）

【役割・取組内容】

- ・各エリアの課題整理
- ・各エリアのクルーズ振興方策の検討
- ・クルーズ振興に関する取組みの実行及びエリアの取組の進捗管理

近畿エリア会議

事務局：近畿地方整備局
（港湾空港部）

開催日：第1回（平成31年3月26日）

中国エリア会議

事務局：中国地方整備局
（港湾空港部）

開催日：第1回（平成31年2月7日）
第2回（平成31年3月25日）

四国エリア会議

事務局：四国地方整備局
（港湾空港部）

開催日：第1回（平成31年2月25日）

九州エリア会議

事務局：九州地方整備局
（港湾空港部）

開催日：第1回（平成31年2月15日）